

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月8日

上場会社名 中部水産株式会社  
コード番号 8145

上場取引所 名証二部  
URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)堀 健雄  
問合せ先責任者 (役職名)経 理 部 長 (氏名)鈴木祥司  
四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

TEL (052) 683—3110

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	11,725	—	1	—	62	—	43	—
20年3月期第1四半期	11,887	△2.7	43	—	98	258.1	60	148.1

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	2.	15	—	—
20年3月期第1四半期	2.	92	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
21年3月期第1四半期	15,905	12,965	12,965	81.5	695.	19		
20年3月期	16,428	13,677	13,677	83.3	668.	74		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 12,965百万円 20年3月期 13,677百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	22,750	—	10	—	100	—	60	—	2.	93
通期	47,600	△2.3	40	592.3	200	25.5	120	—	5.	87

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無  
〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (3) 発行済株式数（普通株式）
- |                     |             |             |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |             |             |             |             |
|                     | 21年3月期第1四半期 | 21,269,000株 | 20年3月期      | 21,269,000株 |
| ② 期末自己株式数           |             |             |             |             |
|                     | 21年3月期第1四半期 | 2,618,565株  | 20年3月期      | 817,182株    |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計期間）  |             |             |             |             |
|                     | 21年3月期第1四半期 | 20,095,229株 | 20年3月期第1四半期 | 20,587,755株 |

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3 ページ「【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、原油・原材料価格の上昇や株式市場の下落、米国の景気後退懸念などによる企業収益の悪化に加え、物価上昇による個人消費の低迷もあり、景気減速感が一段と強まりました。

当業界におきましては、世界的な水産物需要が高まる一方、産地においては燃油高騰による減船や休漁の実施など水産物の供給環境に大きな変化がみられました。また、食品偽装の続発により食の安心・安全への信頼感が揺らぐなか、当社におきましては品質管理や安全性に対する取り組みを一層強化し、積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、売上高は、鮮魚販売など卸売部門が堅調に推移しましたが、飼料工場など兼業部門が減少したため、11,725百万円となりました。利益面については、売上総利益の改善はあったものの、一部販売先に不良債権が発生したため、43百万円の四半期純利益となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚部門は、イカ類、マグロなどの入荷減、タイなどの単価安による売上減がありましたが、カツオ、アジ類、アサリ、貝柱などの入荷増、ウナギ、カンパチなどの魚価高による売上増があり、売上高は5,816百万円となりました。

冷凍魚部門は、鮭鱒が搬入少なく取扱減となり、海老が安価なバナメイエビにシフトしたため売上減となりましたが、タラバガニ、タコ類が加工向け原料販売の増加などにより売上増となり、売上高は2,105百万円となりました。

塩干魚部門は、時鮭の順調な入荷、イクラの拡販、国内加工の開きアジなどの干物や塩サバフィレの取扱増などによる売上増がありましたが、チリメン、カチリなどの入荷減、煉製品の値上げによる取扱減、中国産餃子問題による惣菜類の減少が響き、売上高は3,136百万円となりました。

この結果、卸売部門の売上高は11,058百万円となりました。

(兼業部門)

飼料工場部門は、養鶏用飼料が取扱数量の増加により増収となりましたが、養鰻用飼料が韓国向輸出で販売先の経営悪化から大幅な減収となり、養魚用飼料が他メーカーとの競争激化により取扱減となったため、売上高は415百万円となりました。

食品加工場部門は、少量化、低価格帯への規格変更など消費動向に対応しましたが、中国産原料のポット物が販売不振となり、売上高は112百万円となりました。

冷蔵工場部門は、水産物などの在庫量は増加しましたが、中国問題による保税貨物の減少、鮭鱒の在庫量の減少が響き、売上高は105百万円となりました。

不動産賃貸部門は、賃貸マンションの入居率の増加、平成19年10月より稼動した貸事務所の賃貸収入により売上増となり、売上高は33百万円となりました。

この結果、兼業部門の売上高は666百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、商品及び製品の増加344百万円や投資有価証券の増加347百万円などがありましたが、現金及び預金の減少1,073百万円などにより、前事業年度末に比べ522百万円(3.2%)減少しました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加258百万円などにより、前事業年度末に比べ189百万円(6.9%)増加しました。

純資産は、自己株式の増加897百万円、その他有価証券評価差額金の増加224百万円などにより、前事業年度末に比べ711百万円(5.2%)減少しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物は、営業活動の結果、たな卸資産の増加等により91百万円、投資活動の結果、有形固定資産の取得による支出等により8百万円、財務活動の結果、自己株式の取得による支出等により979百万円それぞれ減少となったため、前事業年度末に比べ1,079百万円(15.9%)減少し、当第1四半期会計期間末には5,711百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成20年5月16日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想は変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用しているため、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しています。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による低価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,081,125	5,154,336
受取手形及び売掛金	2,765,388	2,640,411
有価証券	1,709,363	1,708,706
商品及び製品	997,826	652,975
仕掛品	43,767	34,111
原材料及び貯蔵品	310,761	419,614
その他	68,915	70,367
貸倒引当金	△14,809	△9,669
流動資産合計	9,962,338	10,670,853
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,869,877	1,903,400
その他(純額)	878,335	888,658
有形固定資産合計	2,748,213	2,792,058
無形固定資産		
投資その他の資産	24,703	24,799
投資有価証券	2,567,444	2,219,784
その他	711,817	805,380
貸倒引当金	△108,661	△84,751
投資その他の資産合計	3,170,601	2,940,413
固定資産合計	5,943,518	5,757,271
資産合計	15,905,857	16,428,124
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,573,908	1,314,937
受託販売未払金	140,927	181,965
未払法人税等	20,907	7,111
賞与引当金	20,000	69,000
その他	315,398	317,061
流動負債合計	2,071,142	1,890,076
固定負債		
長期未払金	242,890	242,890
退職給付引当金	529,235	524,621
その他	97,064	93,523
固定負債合計	869,190	861,034
負債合計	2,940,332	2,751,111

中部水産(株)(8145) 平成21年3月期第1四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,342,597	1,342,597
利益剰余金	11,277,015	11,315,556
自己株式	△1,271,203	△374,131
株主資本合計	12,798,409	13,734,021
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	167,116	△57,008
評価・換算差額等合計	167,116	△57,008
純資産合計	12,965,525	13,677,013
負債純資産合計	15,905,857	16,428,124

(2) 【四半期損益計算書】

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	11,725,631
売上原価	11,164,016
売上総利益	561,615
販売費及び一般管理費	559,688
営業利益	1,926
営業外収益	
受取利息	6,916
受取配当金	36,032
その他	17,448
営業外収益合計	60,398
営業外費用	
自己株式取得費用	192
営業外費用合計	192
経常利益	62,132
税引前四半期純利益	62,132
法人税、住民税及び事業税	22,812
法人税等調整額	△3,946
法人税等合計	18,866
四半期純利益	43,266

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	62,132
減価償却費	45,034
貸倒引当金の増減額(△は減少)	29,050
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,614
受取利息及び受取配当金	△42,949
売上債権の増減額(△は増加)	△148,886
たな卸資産の増減額(△は増加)	△245,654
仕入債務の増減額(△は減少)	217,932
未払消費税等の増減額(△は減少)	△101,077
未払費用の増減額(△は減少)	86,958
その他	15,214
小計	△126,631
利息及び配当金の受取額	42,254
法人税等の支払額	△6,975
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△19,500
定期預金の払戻による収入	13,500
有形固定資産の取得による支出	△2,425
投資有価証券の取得による支出	△294
その他	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△897,264
配当金の支払額	△81,870
財務活動によるキャッシュ・フロー	△979,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,079,148
現金及び現金同等物の期首残高	6,790,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,711,563



当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年6月13日付で自己株式を取得しました。その他単元未満株式の買取請求によるものと合わせ、当第1四半期会計期間において自己株式が897,071千円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が1,271,203千円となっております。

「参考」

(1) (要約)前四半期損益計算書

区分	前第1四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
売上高	11,887,214	100.0
売上原価	11,327,968	95.3
売上総利益	559,246	4.7
販売費及び一般管理費	515,898	4.3
営業利益	43,347	0.4
営業外収益	(55,218)	(0.5)
受取利息	6,007	
受取配当金	35,269	
その他の営業外収益	13,941	
営業外費用	(117)	(0.0)
その他の営業外費用	117	
経常利益	98,448	0.8
特別利益	(2,766)	(0.0)
その他の特別利益	2,766	
特別損失	(9)	(0.0)
固定資産処分損	9	
税引前四半期純利益	101,205	0.9
法人税、住民税及び事業税	41,049	
四半期純利益	60,156	0.5

(2) (要約)前四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	101,205
減価償却費	46,403
受取利息及び受取配当金	△ 41,277
売上債権の増減額(増加:△)	241,830
たな卸資産の増減額(増加:△)	304,216
仕入債務の増減額(減少:△)	12,562
その他	69,571
小計	734,513
利息及び配当金の受取額	40,041
法人税等の支払額	△ 88,258
営業活動によるキャッシュ・フロー	686,296
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△ 11,500
定期預金の払戻による収入	11,000
有形固定資産の取得による支出	△ 46,028
有形固定資産の売却による収入	272
投資有価証券の取得による支出	△ 331,459
その他	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 377,655
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△ 12,313
配当金の支払額	△ 82,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 94,740
<b>IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>	213,900
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	5,609,596
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	5,823,497

6. 卸売部門の販売・仕入状況

(1) 販売実績

部門別	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
鮮魚部門(千円)	5,816,807	23,569,014
冷凍魚部門(千円)	2,105,678	9,011,396
塩干魚部門(千円)	3,136,474	13,123,122
合計(千円)	11,058,960	45,703,533

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

部門別	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
鮮魚部門(千円)	5,619,521	22,549,240
冷凍魚部門(千円)	2,101,027	7,773,391
塩干魚部門(千円)	3,169,245	12,642,704
合計(千円)	10,889,794	42,965,336

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

7. 兼業部門の販売・生産状況

(1) 販売実績

部門別	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
飼料工場部門(千円)	415,774	1,997,637
食品加工場部門(千円)	112,109	473,143
冷蔵工場部門(千円)	105,572	465,827
不動産賃貸部門(千円)	33,214	95,945
合計(千円)	666,670	3,032,553

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 生産実績

部門別	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	前事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
飼料工場部門(千円)	372,248	1,845,049
食品加工場部門(千円)	121,912	510,771
冷蔵工場部門(千円)	107,938	464,574
合計(千円)	602,099	2,820,395

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社は、ごく少数の特殊製品について受注生産を行うほかはすべて見込生産であります。